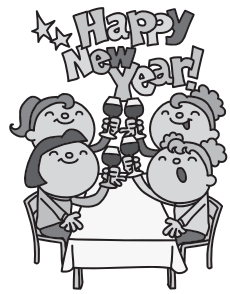


新年会



ふじみ更生園

平成21年1月16日(金)、新年会が行われました。この日が来るのを首を長くして待っていた皆さん。お気に入りの洋服を着て少しおめかしをし、ウェディングパーク八幡台やまたまやへ向かいました。今年の新年会は職員の琴演奏から始まり、素敵な調べに聴き入っていました。乾杯を終えると、目移りしてしまうほどのたくさんのご馳走をお腹いっぱいいただき、会食後は楽しみにしていた阿呆鳥のコンサート。ステージに上がり阿呆鳥と一緒に大熱唱。満面の笑顔で新年のスタートを切ることができました。今年一年何事もなく、皆さんが元気に過ごせますように…。



やしおみ荘

1月22日(木)「八幡台やまたまや」にて新年会を行いました。やまたまやは結婚式など催し物も行う会場のため、華やかな雰囲気にもまれ、新年会が始まる前から皆さんウキウキとした様子でした。

上遠野施設長の挨拶に続き、利用者の「カンバイ！」の高らかな掛け声で会食となりました。しばしの間、料理を堪能していると、職員の仮装による「なつかしのメロディー&パフォーマンス」続いて名物、永沼課長による「ギターの弾き語り」で盛り上がると、いよいよメインイベント。



11月にキングレコードからデビューした福島県相馬出身の演歌歌手 こおり健太さんのコンサートが始まりました。幕が開いたとたん、利用者の握手攻めになり大盛り上がり。デビュー曲「口紅哀歌」「さいはて港町」の他、懐かしいメロディーでまた大盛り上がり。ついには踊りだす方まで。最後はみんなで練習し「口紅哀歌」を大合唱。さらなる大興奮でオーバーヒート寸前。アンコールの嵐で、もう一曲歌っていただきました。

興奮冷めやらぬまま新年会は幕を下ろしました。帰りの車の中でも「たのしかった！」と口々に感想を話していました。来年も皆元気でまた大盛り上がりできますように。

レジデンスなこそ・グループホーム／ケアホーム(ほりきり、あたご)

1月18日(日)レストランみなかわにて新年会(成人を祝う会)が行われました。参加者はレジデンスなこそ利用者17名、グループホームほりきり3名、グループホームあたご3名、保護者3名、職員5名と、地域移行してアパート暮らしとなったTさんも特別参加しての総勢32名で行われました。

新成人の利用者3名の挨拶があり、口々に「早く自立したい」「結婚したい」など将来に向けての力強い抱負が聞かれました。ジュースやビール等で乾杯した後、

利用者一人ひとりの挨拶になりそれをきっかけに普段交流の少ない利用者とも話が弾んでいました。また、保護者と職員の交流にもなり有意義なものとなりました。余興のカラオケでは、普段話さない利用者がマイクを持ち(歌は歌えないけれども)熱唱したり兄弟でデュエットしたりと、大いに盛り上がりました。その後職員、利用者と合同でパラパラを踊り、新年と20歳のお祝いを締めくくりました。

豆まき

レジデンスなこそ・グループホーム／ケアホーム(ほりきり、あたご)

グループホームあたごの節分が世話人と利用者女子4名で行われました。節分の飾り付けを行い、玄関に向かって大きな声で鬼退治をしました。去年は不況で休職に追い込まれた利用者もおり、仕事ができる事と今年1年の無病息災を祈願していました。その後歳の数だけ豆を美味しく食べこれからも頑張っていく事を誓っていました。

ワークセンターしおさい

今年も2月3日(火)に恒例の豆まきを行いました。数日前から「豆まきしたい!」「早くやりたい!!」と待ちきれないようでした。作業が終了すると早く掃除を終え、豆まき開始。思い切り投げ方・やさしく投げ方など、それぞれの投げ方でしおさいの鬼を追い出し、幸せを呼び込んだ節分でした。最後は用意されたお菓子を食べ、お腹いっぱいでした。

ふじみ更生園

「鬼は外、福は内」の元気な声が通りに響き渡った2月3日、節分。

食堂に集合し、節分の由来について話を聞いた後、年男、年女の利用者と職員

が力を合わせて豆まきを行いました。まいた豆やチョコレートを上手にキャッチ、そしてすかさず口に放り込むその笑顔は福の神そのものでした。今年も一年、大きな病気やケガなく楽しく過ごしていく、そう確信した一日でした。

